

## 第18回私立短期大学入試広報担当者研修会 初任者分科会 研修報告書

豊橋創造大学短期大学部  
仁愛女子短期大学  
大手前短期大学

平松 靖一郎  
後久 真嗣  
島崎 千江子

### 【Ⅰ 分科会の目標設定】

- ①入試広報担当者として基本的な知識を身につける
- ②他短大の状況をよく知り、人脈を広げる
- ③本研修で得た「気づき」を自大学の業務に活かす

### 【Ⅱ 分科会の実施内容（スケジュール）】

#### ● 1日目 9/6（木）16:30～17:30

- ・委員紹介及び参加者の自己紹介、講演会の振り返り（担当：島崎委員）
- ・イントロダクション（話題提供）  
「元気な広報マンになるための一例」（担当：平松委員）
- ・2日目の分科会研修についての案内（担当：後久委員）

#### ● 2日目 9/7（金）10:15～12:00、13:00～15:00

##### ①グループワーク Part1「オープンキャンパスについて」 (10:15～12:00)

- ・6名1グループの5グループに分かれて実施。
- ・まずは各グループにて意見交換を行い、各大学の特色あるオープンキャンパス取り組み事例や失敗事例を紹介しあう（15分程度）。
- ・次に、グループで出た意見や1日目の事例発表を参考にして、オープンキャンパスに1人でも多く集客し、出願につなげるための手段を討議して、模造紙にまとめる。



##### (13:00～13:20)

- ・各グループによる発表（1グループ3分程度）。
- ・全グループの発表が終わった後、最も良いと思われるグループを参加者同士の投票により決定。

##### ②グループワーク Part2「キャンパスグッズについて」（13:20～14:30）

- ・グループのメンバーを一部入れ替えて実施。
- ・初任者が選定を担当することが多いキャンパスグッズをテーマとして設定。
- ・各大学が持参したグッズをもとに意見交換を行う。
- ・キャンパスグッズ以外のテーマについても、各グループで自由に意見交換を行った。



##### ③初任者分科会のまとめ（14:30～15:00）

- ・アンケートの記入
- ・全体会での発表に向けてのリハーサル

### 【Ⅲ 分科会の総括】

主に大学に勤めて 3 年未満の方が対象であったため、自学以外の取り組み事例を知り、人脈を広げることを大きな目標として運営を行った。

1 日目に入試広報担当者に求められるスキルや、初任者が抱えている課題について話題提供を行い、本分科会での目標を明確にすることができた。

2 日目の分科会では、1 グループを 6 名程度の小グループにすることで全員が発言できる環境を整えた。初任者が日頃から担当しているオープンキャンパスやオリジナルグッズといった身近なテーマで話し合いを行うことで、活発な議論が生まれ、自学に取り入れられることは 1 つでも多く吸収しようと積極的な情報交換がなされていた。

研修会後も情報交換が行われており、概ね設定した目標は達成できたと考える。

### 【Ⅳ 参加者の成果シート（まとめ）】

・自身ではそこまで良いと思っていなかったことを「すごい！」「やってみたい」と言ってもらえることが多く、自信とやる気がわきました。・自学で当たり前だと思っていたことが、実は珍しい取り組みであったりということもわかり、“外から見ると”いうことができた。・事例を聞き本学でも取り入れたいと思った。・初任者ならではの悩みを共有でき安心することができた。・受験生が集まっている短大は OC 時の学生スタッフが主体的であると気づきました。・似たような環境にいる方々と悩みを聞いたり勉強になりました。・初任者向け分科会でしたが、とても分かりやすく、また丁寧に説明して頂いたので、今後に繋がる研修でした。・オープンキャンパスのアフターフォローでサンキューDMを送るという事例はとても参考になりました。ぜひ自学でも取り入れたいです。・自分の考えがいまだ低い次元にあるという事に気がついた。・ガイダンスなどでは決まった人との交流しかないので、このような研修会は大変良かったです。特に広報について本学の取り組みを紹介したり、他大学の取り組みが本学に参考になると思います。・様々な意見やアイデアを聞くことができ、持ち帰って実践したいと思った。・オープンキャンパスでのポイントカード制や、グッズの配布をやめてケーキバイキングにするなど、自学で取り入れられるかは別としてとても参考になりました。・今までの入試広報業務の中では気付けていなかった部分がとても多く、この研修で気付けて良かったです。・教職員数が限られている中、どの短大も色々と考えをめぐらせて、効果的な入試広報のあり方を探っているのだと知り、本学でも SD 研修の際などにもっと本件について話し合ってみる必要があると感じた。・おかれている状況や強み、弱点、抱えている課題は様々だとしても、そこで働いている人たちが考えていることは、そんなに大きな違いがないということに気付けたのが大きな出来事だった。・高校訪問のあり方やオープンキャンパスでの SNS アップに向けての仕掛けなどすぐにでも変化させられそうなことは取り組みたいと思います。今後も皆さんからの情報をもらいながら、さらに参考にさせてもらいたいと思います。・初めて参加しましたが、こんなにも他校の方とお話できるとは思いませんでした。・他大学の事例、また導入したいことなど建設的にグループワークができた。